

被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

人類は今、破壊への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器・化学兵器について、使用・開発・生産・保有を条約、議定書などで禁じてきました。それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

<この署名は、国連に提出します>

よびかけ被爆者代表

- 坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三【以上、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)・代表委員】
田中熙巳【日本被団協・事務局長】、郭貴勲【韓国原爆被害者協会・名誉会長】
向井司【北米原爆被害者の会・会長】、森田隆【ブラジル被爆者平和協会・会長】
サーロー・セツコ【カナダ在住】、山下泰昭【メキシコ在住】

ヒバクシャ国際署名連絡会 連絡先

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目3番5号 ゲイブルビル902
電話:03(3438)1897 HP:hibakusha-appeal.net

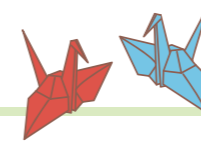


HIBAKUSHA APPEAL
ヒバクシャ国際署名

ご協力をお願いします

広がる平和の署名運動

被爆者のみなさんの訴えを映し出し、核兵器を非合法化する「核兵器禁止条約」が7月7日に国連で採択されました。岐阜県では3月に「ヒバクシャ国際署名をすすめる岐阜県民の会」が結成され、署名運動が大きく広がっています。今後も核保有国を含めて、この条約に参加する国が増えていくよう国際世論の流れをつくるのが大切です。この署名の意義は、ますます大きくなっています。



あなたの署名を国連へ

ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下されて72年。しかし、今も9ヶ国が核兵器を保有し、その数は合計すると1万5000発にもおよびます。平均80歳を超えた被爆者は、「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きているうちに何としても核兵器のない世界を実現したい」と切望しています。今こそ、被爆者の声を世界に届ける時です。みなさんの署名が核兵器廃絶を求める世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すこととなります!

私も広島の惨状を体験しました。ひどい火傷を負ってケロイドが残る方、家に潰され亡くなる方、その時生き残っても、やがて原爆病で倒れる方などまさに地獄でした。このおろかな核兵器は人が考え、つくり、使いました。ですが、またこれを止められるのも人です。なんとしても核兵器を廃絶し、人間の生存を守らねばなりません。どうかみなさん一緒に「核兵器を廃絶せよ」「平和を守れ」の声を一層、大きくしましょう!

岐阜県原爆被害者の会(岐朋会)副会長 久代 譲さん



取り組み期間
9月20日(水)まで

いただいた署名は日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)を通じて国連に提出します。

組合員さんの平和への願い

1日でも早く、世界がひとつになる日が来ることを祈ります。(美濃加茂市 やくみちゃんさん)

政治家、経済界の意向など、諸々の理由で戦争になりますが、民が願うことはありません。自分の考えを行動に移したいと思います。幼い孫たちのために、平和な未来を残したいです。(恵那市 まんさくさん)

世界では、ミサイルの発射やテロなどが続き本当に怖いです。人類みな兄弟。自分にできることは小さなことですが、平和に安心して暮らせる日がくると思います。(高山市 ゆうママさん)

私が父母から聞いた話を子どもたちに伝え、子どもたちが大人になり、またその子どもたちへと語り継いでいってほしい。戦争の恐ろしさを、少しでも理解してもらいたい。(土岐市 うーたんさん)



キリトリ線で切り、地域担当者または店舗サービスカウンターまでご提出ください。

核兵器のない世界のために、わたしたちができること
被爆者の「核兵器をなくしたい!」という想いへの共感署名を呼びかける「ヒバクシャ国際署名」。1人ひとりの力は小さいかもしれませんが、数多くの賛同が集まることで平和を守る礎となります。